

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 23 日

福岡県知事 殿

提出者

住所 <都道府県名>熊本県
合志市福原3122-10氏名 株式会社大晶
代表取締役 星山昌岐

電話番号 096-248-7300

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社大晶
事業場の所在地	<都道府県名>熊本県合志市福原3122-10
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D. 建設業
② 事業の規模	完成工事高 811,400,000円(令和7年1月決算)
③ 従業員数	53名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事⇒廃棄物の発生⇒分別⇒収集運搬⇒中間処理業者、最終処分業者 処分場に処理を委託する場合は、産業廃棄物処理委託契約書を交わし、マニフェスト伝票により適正な処理を行う。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	排出量	2 t	15 t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	排出量	220 t	3 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	ガラスくず等
	排出量	9 t	74 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	管理型混合廃棄物
	排出量	1,110 t	1 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
排出量	0 t	t	
産業廃棄物の種類			
排出量	t	t	
(これまでに実施した取組)			
解体工事の際、分別を行い、リサイクルできる廃棄物に関しては中間処理するよう心掛けた。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	排出量	2 t	10 t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	排出量	200 t	2 t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	ガラスくず等
	排出量	8 t	70 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	管理型混合廃棄物
	排出量	1,000 t	1 t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
排出量	0 t	t	
産業廃棄物の種類			
排出量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			
受注件数により廃棄物の量は変動するが、工事において、埋め立ての処分量を減らし、今まで以上に分別の徹底を行う。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	建物の解体工事時に発生するコンクリートがら、アスファルトがら、その他がれき類、金属くず、木くず、廃プラスチック類、石膏ボード等
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	建物の解体工事時に発生するコンクリートがら、アスファルトがら、その他がれき類、金属くず、木くず、廃プラスチック類、石膏ボード等を今まで以上に現場での分別を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（令和 6 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	ガラスくず等	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	がれき類	管理型混合廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組)				
実施なし				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	ガラスくず等	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	がれき類	管理型混合廃棄物	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物		
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t		
(今後実施する予定の取組)				
実施なし				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（令和 6 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	ガラスくず等	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	がれき類	管理型混合廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
(これまでに実施した取組)				
実施なし				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	ガラスくず等	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	がれき類	管理型混合廃棄物	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t		
(今後実施する予定の取組)				
実施なし				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（ 6年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
実施なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等（石綿含有）	ガラスくず等
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	がれき類	管理型混合廃棄物
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	
(今後実施する予定の取組)			
実施なし			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

		【前年度 (6 年度) 実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類		
	全 処 理 委 託 量	2 t	15 t		
	優良認定処理業者への処理委託量	2 t	15 t		
	再生利用業者への処理委託量	t	t		
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t		
	産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず		
	全 処 理 委 託 量	220 t	3 t		
	優良認定処理業者への処理委託量	220 t	3 t		
	再生利用業者への処理委託量	12 t	0 t		
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t		
	(これまでに実施した取組)				
	優良認定処理業者や再生利用業者への持ち込み量を増やすように努めた。				
	②計画	【目標】			
産業廃棄物の種類		廃油	廃プラスチック類		
全 処 理 委 託 量		2 t	10 t		
優良認定処理業者への処理委託量		2 t	10 t		
再生利用業者への処理委託量		t	t		
認定熱回収業者への処理委託量		t	t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t		
産業廃棄物の種類		木くず	繊維くず		
全 処 理 委 託 量		200 t	2 t		
優良認定処理業者への処理委託量		200 t	2 t		
再生利用業者への処理委託量		t	t		
認定熱回収業者への処理委託量		t	t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t		
(今後実施する予定の取組)					
全体の中で、再生利用業者(優良認定処理業者)への持ち込み量の割合を増やすようにしてリサイクル率を向上させる。					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 2枚目 (5品目目から8品目目)

		【前年度 (6年度) 実績】			
		産業廃棄物の種類	ガラスくず等 (石綿含有)	ガラスくず等	
①現状	全処理委託量		9 t	74 t	
	優良認定処理業者への処理委託量		9 t	74 t	
	再生利用業者への処理委託量			t	
	認定熱回収業者への処理委託量			t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			t	
	産業廃棄物の種類		がれき類		管理型混合廃棄物
	全処理委託量		1,110 t	1 t	
	優良認定処理業者への処理委託量		677 t	1 t	
	再生利用業者への処理委託量		433 t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量			t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			t	
	(これまでに実施した取組)				
	優良認定処理業者や再生利用業者への持ち込み量を増やすように努めた。				
			【目標】		
		産業廃棄物の種類	ガラスくず等 (石綿含有)	ガラスくず等	
②計画	全処理委託量		8 t	70 t	
	優良認定処理業者への処理委託量		8 t	70 t	
	再生利用業者への処理委託量			t	
	認定熱回収業者への処理委託量			t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			t	
	産業廃棄物の種類		がれき類		管理型混合廃棄物
	全処理委託量		1,000 t	1 t	
	優良認定処理業者への処理委託量		600 t	1 t	
	再生利用業者への処理委託量		400 t	t	
	認定熱回収業者への処理委託量			t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			t	
	(今後実施する予定の取組)				
	全体の中で、再生利用業者(優良認定処理業者)への持ち込み量の割合を増やすようにしてリサイクル率を向上させる。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 3枚目 (9品目目から12品目目)

		【前年度 (6年度) 実績】			
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物		
①現状	全 処 理 委 託 量		0	t	t
	優良認定処理業者への委託量		0	t	t
	再生利用業者への委託量			t	t
	認定熱回収業者への委託量			t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量			t	t
	産業廃棄物の種類				
	全 処 理 委 託 量			t	t
	優良認定処理業者への委託量			t	t
	再生利用業者への委託量			t	t
	認定熱回収業者への委託量			t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量			t	t
	(これまでに実施した取組)				
			【目標】		
			産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物	
②計画	全 処 理 委 託 量		0	t	t
	優良認定処理業者への委託量			t	t
	再生利用業者への委託量			t	t
	認定熱回収業者への委託量			t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量			t	t
	産業廃棄物の種類				
	全 処 理 委 託 量			t	t
	優良認定処理業者への委託量			t	t
	再生利用業者への委託量			t	t
	認定熱回収業者への委託量			t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への委託量			t	t
	(今後実施する予定の取組)				